

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社ケアシステムズ

② 施設・事業所情報

名称：藤沢市立柄沢保育園	種別：認可保育所
代表者氏名：阿曾 祐子	定員（利用人数）： 90名
所在地：〒251-0003 藤沢市柄沢1丁目6-5	
TEL：0466-26-1355	ホームページ： <a href="https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/">https://www.city.fujisawa.kanagawa.jp/</a>
【施設・事業所の概要】	
開設年月日 1976年8月1日	
経営法人・設置主体（法人名等）：藤沢市・藤沢市長 鈴木 恒夫	
職員数	常勤職員： 15名 非常勤職員 7名
専門職員	（専門職の名称） 名 保育補助 3名
	保育士 12名 調理業務員 1名
	用務員 1(5園兼務)名 事務員 1名
	調理員 2名 嘱託医 2名
施設・設備の概要	（居室数） （設備等）
	保育室7 事務室1 職員更衣室（兼休憩室）2 調理室1 調理休憩室1 用務員作業室1 エアコン（各保育室）、ボイラー、洗濯機、乾燥機、防災用品、インターホン、園庭：2か所有り

③理念・基本方針

【保育理念】 生きる力の基礎を育む保育
【保育方針】 子ども一人一人の健やかな心身の発達を保障し生き生きと育てる 保護者と子育ての共有を図り、育ちを支える 地域に開かれた保育園として子育て家庭の支援に積極的に取り組む
【保育目標】 ①様々な欲求を適切に満たし、生命保持及び情緒の安定を図る ②基本的な生活習慣や態度を養い、心身の健康の基礎を培う ③人との関わりの中で、人への愛情や信頼感そして人権を大切にする心を育てるとともに、自主、自立、協調の態度を養い、道徳性の芽生えを培う ④生命、自然、社会事象についての興味や関心を育て、豊かな心情と思考力の芽生えを培う ⑤言葉への興味や関心を育て、話す、聞く、相手の話を理解しようとするなど言葉の豊かさを養う ⑥様々な実体験を通して豊かな感性や表現力を育み、想像力の芽生えを培う ⑦乳児保育においては、受容的、応答的な関わりを通して「人への基本的信頼感」を育む

④施設・事業所の特徴的な取組

保育園の周辺は静かな住宅街に囲まれ、近くには多くの公園もあり自然に恵まれた環

境にあります。この豊かな自然に触れながら、友だちや保育士と一緒に遊ぶなど豊かな体験を通して乳幼児期の発達的基础を育てています。

柄沢保育園は建物の老朽化が進み、また、地区内の施設新設・再整備等により保育の供給体制が充足したため、令和8年3月をもって閉園が決まっております。現在は段階的に受け入れを停止しております。定員が縮小していく中で、異年齢との関わりが不足しないよう、近隣の保育園との交流や、世代間交流、小・中・高校生との交流、地域ボランティアの方による絵本や紙芝居、素話の読み聞かせをする「おはなし会」の実施等、社会的経験の補完を目的として計画的に進めております。

地域に対しては、園庭や空き保育室を利用した地域交流の開催、及び園庭の開放、育児相談などを行っております。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2023年 5月 23日（契約日） ～ 2024年 2月 19日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	2回（令和2年度）

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

特長

**保護者との信頼関係を築き、子ども一人ひとりを大切に丁寧な保育を実践している**

園舎は古めかしさがありながらも、温かみのある雰囲気の魅力で、子どもたちにとって居心地の良い場所となっていることがうかがえる。閉園が決まっているため、子どもたちの数は少ないが、その分、様々な新しい取り組みに積極的で、成長に向けたさまざまなプログラムが展開されている。自然環境も整備されており、園庭や中庭での活動が子どもたちの健やかな成長に寄与している。閉園の過程であっても、質の高い保育を提供し続けることを目指している。

**調理員と用務員が協力し、食育に積極的に取り組んでいる**

用務員と共に野菜の種を植えたり、育て方を学んだり、子どもたちは草木や野菜の生長を楽しみ季節を感じることができている。調理員は「顔が見える調理室」を目指し、保育室で旬の野菜を紹介したり、魚の名前当てクイズを実施、また、子どもたちは野菜の皮むきや種とりの手伝いを通じて、食への興味や関心を育む活動を行っている。調理室の前には、その日の給食を展示するコーナーや保護者向けのポストが設置されており、保護者からの感想や意見を受け付け、評判の良かった献立については、レシピや食材の紹介なども積極的に行っている。

**サービス残業を精査し、職員が必要な業務を業務として行えるよう改革している**

柄沢保育園では、サービス残業の実態とその防止について職員間で積極的に討議を行い、業務の持ち帰りやサービス残業が発生しないための工夫をしている。具体的には、業務量と進捗状況を表にして職員全体で共有し、事務時間内での業務完了を目指している。また、ワークライフバランスを重視し、休暇取得の推進や職員の働きやすい職場環境づくりに取り組んでいる。園内での業務を明示し、サービス残業をなくす方策を講じ、イレギュラー業務には主任がサポートをすることで、職員の業務負担を明らかにし、残業発生を削減している。

・今後期待される点

**保育内容の伝達をよりわかりやすくする工夫に継続的に取り組んでいる**

保育園での取り組みや活動の様子については、掲示やお便り、口頭においてなどさまざまな情報発信に取り組んでおり、一方的なものにとどまらないように検討を重ねて

いる。今後も掲示物のスタイルや内容、量などを更に改善し、保育園内での様子がより伝わりやすくなるよう、情報発信の工夫に継続的に取り組むとしている。

#### **閉園に向けた計画的対策と支援について継続な課題としている**

柄沢保育園では、市の公立保育園中長期計画に従いつつ、3年後の閉園を前に、保育の質を維持することに注力している。閉園に向けた園児や保護者への支援は、近隣保育園や保育課との連携のもと進められているが、計画的な対策の展開について継続的な課題としている。園児数を段階的に減少させる中で、閉園までの期間を安心して過ごしてもらうため、計画的な取り組みが望まれる。

#### ⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

第三者評価の受審にあたっては、さらなる保育の質の向上を目指すため職員全員で取り組み、保育の振り返りを丁寧に行いました。自園の良いところや課題等を職員間で再認識し、改善等の実践に繋げる機会となりました。当園は令和8年3月末をもって閉園を予定しております。入所受入れクラスを段階的に停止しているための環境整備等、保育内容の取り組みに高評価をいただいております。それらを保育園における中長期計画として、わかりやすく計画表で明示していきます。これからも保護者の皆様とともに実りある保育園生活を過ごせるよう、職員一同努めてまいります。

#### ⑧第三者評価結果

別紙2のとおり